

これは全国的な傾向として、修学旅行を三年生時の一過性の行事として終わらせるのではなく、一年生時から校外学習を積み重ね、三年間を通して一貫性をもち、このしめくくりの行事と位置付ける学校が多い。この間はこれに必ずしも調査である。全般的な傾向として、一年時は遠足、二年時はキャンプ、自然教室等の宿泊学習が主体をなしている。各地区とも三年間を通じてほとんど変わらない。二年生時においては各校とも名称は異なるが校外で宿泊学習を実施し、人間関係を豊かにし、三年時の修学旅行にそなえて

表9 体験学習の有無 (校数、( )内実施率%)

|   | 関東      | 東海      | 近畿      | 計       |         |         |         |         |         |          |          |          |
|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|----------|
| 有 | 37 (45) | 37 (47) | 22 (29) | 18 (32) | 15 (28) | 11 (21) | 44 (56) | 40 (50) | 43 (52) | 99 (46)  | 92 (44)  | 76 (36)  |
| 無 | 46 (55) | 41 (53) | 55 (71) | 38 (68) | 38 (72) | 42 (79) | 34 (44) | 39 (50) | 39 (48) | 118 (54) | 118 (56) | 136 (64) |

表10 体験学習内容 (63年度校数)

| 順位 | 種別   | 関東 | 東海 | 近畿 | 計  |
|----|------|----|----|----|----|
| 1  | 別荘   | 12 | 13 | 10 | 35 |
| 2  | 自主活動 | 13 | 2  | 16 | 31 |
| 3  | 班別   | 6  | 0  | 3  | 9  |
| 4  | 物品   | 0  | 1  | 7  | 8  |
| 5  | 平和   | 6  | 0  | 0  | 6  |
| 6  | 型    | 0  | 0  | 5  | 5  |
| 6  | 郷土   | 0  | 0  | 3  | 3  |

意味の体験学習を取り入れた学校は、その内容を簡単に書いてください。(表9、10) 修学旅行中の体験学習について、この調査では、実施率は近畿地区で高く、兵庫県は70%に近い。これは目的地と深く関係し、都会地を離れた信州方面等で行いやすい。体験学習の内容については毎年大同小異で、今年度分についてはのみ記載した。班別自主行動とか、グループ行動等については、体験学習の類としない学校もある。この項目の数は流動的である。この表では各校が工夫を凝らしている様子を具体的に示すことが、紙面の都合で割愛せざるを得ないので残念である。



表12 目的地、見学箇所の選定 ( )内%

|           | 63年      | 62年      | 61年      |
|-----------|----------|----------|----------|
| ア 適切だった   | 210 (97) | 202 (96) | 200 (94) |
| イ 適切でなかった | 6 (3)    | 8 (4)    | 12 (6)   |

表14 問9. あなたの学校では、今後の修学旅行の実施について、今の段階で、どう考えていますか。ア～キのどれか一つの記号を○で囲んでください。( )内%

|                          | 158 (73) | 155 (74) | 165 (78) |
|--------------------------|----------|----------|----------|
| ア 特別な事情のないかぎり従来通り実施する    | 8 (4)    | 4 (2)    | 11 (5)   |
| イ ねらいをかえて実施する (問2のねらい参照) | 12 (6)   | 11 (5)   | 10 (5)   |
| ウ 指導の形をかえて実施する (問3の形を参照) | 35 (16)  | 34 (16)  | 24 (11)  |
| エ 目的地やコースを変えて実施する        | 2 (1)    | 3 (1)    | 0 (0)    |
| オ 学年をかえて実施する             | 0 (0)    | 0 (0)    | 0 (0)    |
| カ 実施しない                  | 2 (1)    | 3 (1)    | 3 (1)    |
| キ その他                    |          |          |          |

「中学校修学旅行行動調査」三年年の集計分析を終る。時間制約されたまま、回答の意向が十分に云いつくせない面もあると思われるが、この点については、各級級願いたい。修学旅行の「ねらい」内容については、既述した調査で、「ねらい」についてはほぼ目的を達したが、内容については散漫になった。発問や、回答の選択肢にも一工夫あつてよかつた反省して

### 四、むすび

以上で三地区修学旅行による「中学校修学旅行行動調査」三年年の集計分析を終る。時間制約されたまま、回答の意向が十分に云いつくせない面もあると思われるが、この点については、各級級願いたい。修学旅行の「ねらい」内容については、既述した調査で、「ねらい」についてはほぼ目的を達したが、内容については散漫になった。発問や、回答の選択肢にも一工夫あつてよかつた反省して

表8. 修学旅行の事前指導事例 (校数)

|    | 1年  | 2年  | 3年   | 通年   |
|----|---|---|--|--|
| 関東 | 遠足 54<br>飯ごう炊飯 17<br>宿泊訓練 8<br>集団行動訓練 5<br>校外学習 3<br>オリエンテーリング } 3<br>ウォークラリー }<br>社会見学 3               | 林間学校・自然教室 47<br>修学旅行委員会発足 34<br>遠足 29<br>宿泊訓練 22<br>飯ごう炊飯 9<br>キャンプ 4<br>集団行動訓練 3<br>リーダー訓練 3             | 集団行動訓練 49<br>修学旅行委員会 30<br>遠足 3<br>学級・班活動、集団づくり 3<br>オリエンテーリング } 2<br>ウォークラリー }<br>学年委員会 1<br>学年集会 1 | リーダー訓練 21<br>集団行動訓練 6<br>学年委員会 3<br>修学旅行委員会発足 3<br>学年委員会活動 3<br>学級集団づくり 2<br>オリエンテーリング 1<br>廃品回収 1 |
| 東海 | 遠足 45<br>宿泊訓練 11<br>林間学校・自然教室 7<br>社会見学 7<br>キャンプ 6<br>委員会活動 3<br>学年球技会 2<br>学年集会 1                     | 遠足 39<br>宿泊訓練 18<br>林間学校・自然教室 14<br>修学旅行委員会 14<br>キャンプ 11<br>社会見学 10<br>臨海学校 2<br>ウォークラリー 2               | 集団行動訓練 36<br>修学旅行委員会 13<br>遠足 6<br>委員会活動 2<br>社会見学 1<br>学級集団づくり 1<br>リーダー訓練 1<br>クラブ活動 1             | リーダー訓練 23<br>集団行動訓練 11<br>学年委員会活動 4<br>学級集団づくり 2<br>部活宿泊訓練 1<br>学年集会 1<br>写生会 1<br>奉仕活動 1          |
| 近畿 | 遠足 46<br>飯ごう炊飯 24<br>宿泊訓練 22<br>校外学習 11<br>林間学校・自然教室 10<br>スキー・スケート教室 5<br>リーダー訓練 4<br>キャンプ 3<br>社会見学 2 | 遠足 32<br>林間学校・自然教室 28<br>宿泊訓練 25<br>修学旅行委員会 16<br>校外学習 9<br>社会見学 7<br>飯ごう炊飯 4<br>スキー・スケート教室 4<br>リーダー訓練 4 | 集団行動訓練 43<br>修学旅行委員会 23<br>学級集団づくり 6<br>平和学習 5<br>遠足 3<br>リーダー訓練 3<br>学年委員会 2<br>自主研修 2<br>宿泊訓練 1    | リーダー訓練 17<br>学年委員会活動 7<br>集団行動訓練 6<br>自主研修 5<br>学級集団づくり 4<br>平和学習 3<br>遠足 2<br>学年集会 2<br>修学旅行委員会 1 |

問7. 目的地や見学箇所の選定は、全体的に見て適切でしたか。ア、イどちらか一方を○で囲んでください。(表12) 本年度適切でないとしたものは3%弱であった。この内訳を示したものが表13である。

表11 評価1または2と回答した学校数

|     | 63年 | 62年 | 61年 |
|-----|-----|-----|-----|
| 評価1 | 3   | 0   | 1   |
| 評価2 | 5   | 6   | 6   |

表13 問8. 上記、問7について、イ(適切でなかった)と答えた学校は、その理由を次のア～キから選んで、その記号を○で囲んでください。(いくつでも可)

|                                  | 関東 | 東海 | 近畿 | 計  |
|----------------------------------|----|----|----|----|
| ア 見学箇所が一方的にかたよりにすぎた (例、神社、仏閣のみ等) | 0  | 0  | 2  | 2  |
| イ 目的地までの往復、現地での移動に多大の時間を費した      | 2  | 5  | 1  | 8  |
| ウ 見学箇所が盛り沢山で、全般的に印象を淡くした         | 0  | 0  | 0  | 0  |
| エ 娯楽、レジャー的色彩が濃く、修学の意味が薄れた        | 0  | 0  | 1  | 1  |
| オ 体験学習が形式的で、内容が乏しかった             | 0  | 2  | 1  | 3  |
| カ 経費に比べて、充実感が伴わなかった              | 0  | 0  | 1  | 1  |
| キ その他                            | 0  | 0  | 1  | 1  |
| 計                                | 2  | 12 | 3  | 17 |

### 三、今後の修学旅行

調査III 今後の修学旅行 問9. (表14) ア 特別な事情のないかぎり 従来通り実施する、が34%である。工目的地やコースを変えて実施する、が16%あるが、地区別でみると関東2.5%、東海20%、近畿30%となっている。これは関東からは目的地としては関西、東北と二地域に限られているが、東海、近

表15 指導の形と次年度への変化

| 修学旅行の指導の形          | 63年度  | 62年度  | 61年度  |
|--------------------|-------|-------|-------|
| ア 主として教師中心         | イ→ウ 3 | ア→ウ 1 | ア→ウ 1 |
| イ 教師の指導が比較的多い      | イ→エ 2 | ア→イ 1 | イ→ウ 2 |
| ウ 教師の指導と生徒活動が相なかつた | ウ→エ 6 | イ→ウ 3 | イ→ウ 1 |
| エ 生徒の自主的活動が比較的多い   | エ→ウ 1 | イ→エ 1 | ウ→エ 4 |
| オ 主として生徒が中心        |       | ウ→エ 5 | ウ→オ 1 |

畿からのそれは多様化していることの影響であろうかと思われる。イ、ウ、カについて問10、問9でイ(ねらいをかえて実施)と回答した学校は、問2のねらいを、どのように変更するか、問2のねらいの中から選んで記号で答えてください。修学旅行のねらいは学校として固定的なものでなく、その時点の学年教師の組織、生徒の実態に応じて流動的である。

### 二、修学旅行の評価

調査II 修学旅行の評価 問6. あなたの学校の修学旅行のねらいで、先きにあげた要項した3項目について、実施後の評価を5段階の段階で答えてください。(表11) 評価が1(悪かった)と2(やや悪かった)が一つでもあった校数を集計してある。この他の学校はほとんど3、4と評価している。評価を1とした項目は、(素晴しい自然に接し)で、雨天により期待はずれとなったためである。

ねらいの変更は61年度は十二校、62年度四校、今年度八校である。問11、問9のウ(指導の形をかえて実施)と回答した学校は、どのように変更するか、問2のねらいを、どのように変更するか、問2のねらいの中から選んで記号で答えてください。修学旅行のねらいは学校として固定的なものでなく、その時点の学年教師の組織、生徒の実態に応じて流動的である。

**大阪・神戸 直行便 別府さんふらわあ** 12,000ト

大阪南港 19.00発 → 神戸中突堤 20.30発 → 別府 8.00着  
8.20着 → 6.50着 → 19.20着

信頼の船旅 **関西汽船**  
営業本部営業課 大阪市北区梅田1-1 ☎(06)344-7031  
東京支社 東京都中央区八重洲1-4-14 ☎(03)274-4273  
及び各支店、営業所、旅行代理店へ

修学旅行に 貸切専用外航純客船 **さんふらわあ7** もご利用ください。

座禅体験で "心、リフレッシュ!!"  
清潔、安全、快適、安心のお宿

|    |     |      |      |
|----|-----|------|------|
| 本館 | 17室 | 194帖 | 120人 |
| 比叡 | 28室 | 260帖 | 200人 |
| 北嶺 | 15室 | 160帖 | 130人 |
| 計  | 60室 | 614帖 | 450人 |

〈国際観光旅館〉 **延暦寺会館**  
比叡山  
TEL 0775-78-0047・0554  
TEL EX 5464-917  
FAX 0775-79-5053

